



平成30年8月27日

富山市長 森 雅志 様

富山市民営化対象保育所
及び引受法人選考委員会
委員長 野尻 昭一



富山市立保育所の民営化に係る
引受法人の選考について（答申）

平成30年7月24日付けで諮問のありました標記の件については、当委員会において鋭意検討を重ね、次のとおり結論を得たので、答申します。

第1 答申の結論

今回の富山市立保育所の民営化に係る引受法人の選考については、次のとおり結論を得た。

(1) 西田地方保育所

社会福祉法人 富山国際学園福祉会(理事長 金岡 克己)を推薦する。

(2) 豊田保育所

社会福祉法人 相幸福社会(理事長 相澤 実希)を推薦する。

第2 答申の理由

1 今回の諮問に対し当委員会では、民営化の趣旨である「市民がより利用しやすい保育所づくり」を実現できる法人を選考するため、「引受法人選考基準」を踏まえ、社会福祉法人、学校法人及び公益財団法人といった多様な計11の応募法人について、「法人組織」「保育所運営」「保育事業」「職員配置」の4つの視点から、書類審査及び理事長等へのヒアリングを行い、慎重かつ厳正に選考を行った。

2 この結果、今回、推薦する各法人については、上記の4つの視点のいずれにおいても高く評価できるとともに、次のような点からも、公立保育所の運営を堅実に引き継ぐとともに、多様化する保育ニーズに適切かつ迅速に対応したサービスの提供が期待できるものと考えた。

(1) 社会福祉法人 富山国際学園福祉会 (理事長 金岡 克己)

- ① 平成17年4月の民営化により市から移管を受けたにながわ保育園(2・3号定員:170人)を円滑に運営してきた実績に加え、財務指標からも経営状況が良好であると判断できることから、保育環境に急激な変化をきたすことなく安定した保育所運営が期待できること。
- ② 当該法人が運営するにながわ保育園では、保護者や地域の子育て家庭が抱える保育ニーズを適切に捉え、休日保育や年末保育などの特別保育を積極的に実施しており、保護者の多様なニーズに対応しつつ、子どもの最善の利益を保障する保育サービスの提供が期待できること。
- ③ 当該法人は、富山国際大学や富山短期大学といった高等教育機関と連携できることから、学術性を備えた法人組織による保育所運営、加えて、高度な専門的見地からの多様な保育事業の展開、さらには保育者養成機関との連携による人材確保や保育の質の向上が期待できること。
- ④ 保育事業のほか、放課後児童健全育成事業(学童保育)の運営も計画されており、地域の子育て支援拠点施設として、施設機能のさらなる充実が期待できること。

(2) 社会福祉法人 相幸福祉会 (理事長 相澤 実希)

- ① 平成18年4月の民営化により、市から移管を受けたまつわか保育園(2・3号定員:140人)を運営してきた実績や、立山町においてあおぞら保育園(2・3号定員:160人)及びかがやき保育園(2・3号定員:150人)の2園を円滑に運営してきた実績があることに加え、財務指標からも経営状況が良好であると判断できることから、保育環境に急激な変化をきたすことなく安定した保育所運営が期待できること。

- ② 当該法人が運営するまつわか保育園では、保護者や地域の子育て家庭が抱える保育ニーズを適切に捉え、休日保育や年末保育などの特別保育を積極的に実施しており、保護者の多様なニーズに対応しつつ、子どもの最善の利益を保障する保育サービスの提供が期待できること。
- ③ 当該法人が市内で運営する幼保連携型認定こども園のほか、立山町において運営している保育所2園との連携が可能であり、それにより保育所職員の人事交流による職場の活性化や、保育内容の多様化と充実が図れるほか、広域的な子育て支援事業の展開が期待できること。
- ④ 保育事業のほか、放課後児童健全育成事業（学童保育）の運営も計画されており、地域の子育て支援拠点施設として、施設機能のさらなる充実が期待できること。

おわりに

市においては、保育所の入所児童や保護者に不安を与えることなく、当該保育所が円滑に私立保育所に移行できるよう、引受法人に対する指導を行われたい。

また、公立保育所の保育内容が適切に引き継がれ、移管後も保育所の教育・保育の質が保障されるようにするとともに、保育所立地地域に根差した子育て支援拠点として移管保育所が機能し、かつ、富山市全体の子育て環境の向上を目指した取組みが移管保育所を中心として展開されるよう、引受法人に対する援助に努められたい。

そして、「市民がより利用しやすい保育所」の実現を目指して、地域のニーズに応じた様々な子育て支援に取り組むよう一層努められたい。